

総合的な学習の時間「災害から命を守る」
 あなたが家族の防災リーダー
 －防災フェスタを開こう－

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力，主体性，他者理解，社会参画

◇ 日 時 令和5年10月3日（火）5校時

◇ 学年・組 第5学年1組 計36名

単元について

◇単元観

府中町では、5年前に西日本豪雨災害で土砂災害の被害が起こっており、今後も土砂災害に警戒する必要がある。また、日本で予想されている地震の1つに南海トラフ地震がある。南海トラフ地震では最大震度7や海岸部での大津波も想定されており、府中町に住んでいる人々にも大きな影響を与えると考えられる。

本単元は、今後想定される様々な自然災害に対して行政が行っている対策（公助）や、災害が発生した時にボランティアの方々がどのような活動を行っているか（共助）、自分たちは身を守るためにどのような備えができるのか（自助）について知ったり考えたりする。公助・共助についての学習で、資料だけでなく、体験談等を取り入れることで実感のある学びとすることができる。公助・共助・自助を学習することで、学習前よりも防災意識が高まり、行動したいという思いにつながるができる。また、学習を通して、周りからどのように支えられているのか、自分自身が何を大切にしながら生活しているのか等、自己の生き方について気付き、思いをもつことができる。

◇児童観

本学級の児童は、1学期に5年前の西日本豪雨災害の被災状況を写真で見たり、南海トラフ地震の被害想定動画を見たりしたことで、災害について「怖い」「備えておきたい」といった思いをもっている。令和5年7月10日の九州地方での大雨に伴い、府中町でも大雨警報や避難指示が発令された際、災害に対する備えについてアンケートを取ったところ、以下のような回答があった。

災害に対する備えの行動をとりましたか。	はい（5人）
	いいえ（31人）
「はい」の人はどのような行動をとりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・家の中の高い所に移動した（2人） ・避難ルートを確認した（1人） ・防災リュックの中身のチェックをした（2人）

また、防災リュックに関するアンケートを行ったところ、以下のような回答があった。

家に防災リュックはありますか。	はい（11人）
	いいえ（25人）
「はい」と答えた人	
防災リュックは誰が準備しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方（11人） 保護者の方と一緒に（0人） 自分で（0人）
防災リュックに何が入っているか知っていますか。	はい（6人）
	いいえ（5人）

「いいえ」と答えた人	
防災リュックを用意しておく必要があると思いますか。	はい（24人）
	いいえ（1人）
なぜ防災リュックを用意していないですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思うが、これまで準備するタイミングがなかったから（22人） ・その他（3人） 倉庫に必要な物が入っているから（2人） 子どもの分だけまだ作成していない（1人）

以上の結果から、大きな災害に対する恐怖心や備えの必要性は感じているが、実際に行動に移すことはほぼできていないということが分かる。また、備えとして防災リュックを用意している家庭でも、避難指示が出た時に防災リュックの中身の確認をしていなかったり、準備は保護者の方が行っていたりと、児童が主体的に防災の取組をしているとは言えない状況である。

◇指導観

指導に当たっては、単元の最初に、1学期の調べ学習を振り返ることで災害の恐ろしさや災害に対する備えの必要性を再度確認し、本単元で災害に対する備えについて学習することを意識させる。

自分の備えを主体的に行えていないという実態から、公助の内容を知ることによって自分の備えをしなければならないという思いをもたせたい。公助として、府中町危機管理課の方が町民を災害から守るため、災害後に町民が安全に生活を送るためにどのような備えを行っているのかを教えていただく。そこで、自分たちの命や生活を守るために必要最低限の準備が行われているが、自分の命を守るため、避難所で安心して過ごすためには自分も備えをしなければならないことに気付かせ、自助として何を行えばよいか興味をもたせる。

その上で、自分の命を守る方法の一つとして防災リュックを取り上げ、数の制限、状況の指定を行い、防災リュックに入れるものを考えさせる。グループで、考えた防災リュックの中身を伝え合う中で、今考えている防災リュックで災害後の生活を送ることができるのか、足りない物はなかったか、不要な物を入れていなかったかを確認し、防災リュックの中身の再検討を行う。具体的に場面を想定することで、避難所生活のイメージをもったり、防災リュックの必要性をより感じたりすることができるようにしていく。

最後に、府中町でボランティアとして災害時等に活動を行っている方に話を聞く機会をもつ。西日本豪雨災害の時の避難所の様子や避難所を運営する時に人からしてもらったことで助かったこと、避難所生活を送る中で困ったことを聞き、避難所での生活で小学5年生の自分たちにできることはないかについて考えさせたい。そこで、よりよい避難所生活を送るためには防災リュックを用意することだけでなく、人と人とのつながりや思いやり、支え合うことなどが必要であることを実感させ、それらは災害時にいきなりできるものではなく、日々の生活から意識しなければならないものであることにも気付かせたい。

児童の防災意識が高まり、児童が備えを行うためには、保護者の協力が不可欠である。本単元後、「防災フェスタ」を開き、児童がこれまでに学習してきたことや感じてきたことを保護者の方に伝えることで、家庭での防災の取り組みにつなげたい。

単元の目標

○自然災害が起きたときに自分の身を守ったり，地域の人々と協力しあって避難生活を送ったりするために，自分たちができる備えや自分たちにできることを考え，主体的・協働的に解決し，実行することができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①自分たちが住んでいる国では，多くの災害が起きたり，これから大きな震災が起これると予想されたりしていることや，災害から身を守るために防災の取組を行う必要があることを理解している。 ②過去の災害等や，災害から自分たちの身を守る方法について情報を収集している。 ③自分の防災リュックに必要な物を選択できるのは，災害に対する備えについて探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①聞いた情報や調べた情報，考えたことの中から課題を発見し，設定している。 ②災害や防災に関する情報を多様な方法で収集している。 ③災害や防災について調べたことや交流したことを比較したり関連づけたりして確かな根拠をもっている。 ④学習を通して気付いた自分の思いを，相手や目的に応じて効果的に表現している。	①災害の備えに対する自分の考えをもつために，生活を見直し自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ②防災について，自分事として考え，学んだことや家族に協力してほしいことを伝える防災フェスタに向けて，主体的に取り組もうとしている。 ③防災について学習したことを実生活に結び付けて自分のこととして取り組もうとしている。

本時の学習（10時間目／全20時間）

◇本時の目標

○あらかじめ考えておいた防災リュックの中身を自分にとって最適なものになるよう友達の考えを生かしながら再検討し，防災リュックを用意する時に必要なことを考えることができる。

◇学習の流れ

学習活動	・指導上の留意点，◇予想される児童の反応	評価規準（評価方法）
1 前時に考えた防災リュックの中身を紹介する。	◇自分が考えた防災リュックとみんなが考えたものは違うな。	
2 めあてを確認する。		
防災リュックを用意する時に必要なことを考えよう。		
3 班で防災リュックの中身を交流する。	・ワークシートを見せながら，自分が防災リュックに入れた物を班で共有する。 ・友達が自分と違う物を防災リュックに入れていたら理由を聞くことで，友達が何を大切に考えて選んだのかを知ることができるようにする。 ◇ティッシュがいたると思っていたけど，友達のようにトイレットペーパーの方が色々な場面で使えるかもしれないな。 ◇災害で水が止まったら，水がたくさんいる	

	<p>のか。自分の考えていた量では足りないかもしれないな。</p> <p>◇食料の用意をしているのは友達と同じだな。</p>	
<p>4 時間軸を活用し、災害後に起こりそうなことや必要な物を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班での交流では扱われなかった視点を扱うようにする。 ・東日本大震災時の避難所の写真を提示することで、避難所の様子を想像できるようにする。 <p>◇避難所に着いたら、自分の場所が割り振られるけど、敷くものはあるのかな。バスタオルやレジャーシートが必要だな。</p> <p>◇避難所のトイレはすごく汚れていることがあるんだな。</p> <p>◇避難所の夜は真っ暗なんだな。懐中電灯は入れておいた方がいいな。</p>	
<p>5 防災リュックの中身を見直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リュックに入れてよい数は変わらないので、物を付け足すのではなく、入れ替えるように指示する。 ・ワークシートになぜ入れ替えたか理由も記入できるようにする。 ・リュックの中身を変えない児童は、その理由を書かせる。 <p>◇トイレは並ぶだろうから簡易トイレは持っておく方がいいかもしれないな。</p> <p>◇水は1本あればいいと思っていたけど、いろいろな場面で使うから1本では足りないな。</p> <p>◇電気もガスも使えないかもしれないから食料はカップ麺ではなく、アルファ米に変えよう。</p> <p>◇歯磨きもしたくなるだろうから入れておかなければならないな。</p>	<p>○災害後に必要な物を考え、防災リュックの中身を再検討している。(ワークシートの内容)</p>
<p>6 全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをタブレットで撮影し、電子黒板に表示することで全員が発表者のワークシートを見ることができるようになる。 <p>◇マスクを懐中電灯に変えました。避難所の夜はとても暗く、トイレなどの移動の時に必要だと思ったからです。</p> <p>◇ゲームを水に変えました。友達が言っていたように、水は飲むため、清潔を保つため</p>	

	<p>などいろいろな場面で必要だと思ったからです。</p> <p>◇水をゲームに変えました。避難所で時間がある時や、不安になってしまった時に必要だと思ったからです。</p>	
7 防災リュックを用意する時に必要なことについて考える。	<p>・防災リュックの中身が全員違うことや、今回考えた防災リュックは他の時期では使用しづらいことを話すことで、用意する時に必要なことを考えることができるようにする。</p> <p>◇防災リュックの中身は定期的に見直したり、点検したりしないといけない。</p> <p>◇大切だと思っていることは人それぞれ違うから、自分に適した物は何か考えなければならぬんだ。</p>	○防災リュックを用意する時に必要なことに気付いている。 (発言)
8 振り返りをし、次時の活動の見通しを持つ。	<p>・振り返りの視点をもたせる。(防災リュックを見直して感じたこと・さらに知りたいと思ったこと)</p> <p>◇防災リュックを作る時には、災害が発生したときの状況を想像することが必要だと思った。</p> <p>◇友達と話をすることで、本当に必要な物に気付いたので、友達の意見を聞くことは大切だと思った。</p>	

パフォーマンス課題

パフォーマンス課題



あなたが家族の防災リーダー
～防災フェスタを開こう～

これから起こる災害から自分や家族の身を守るためには、備えが必要！

自分の安全を守るためにどんな備えをしたいか考え、防災フェスタで伝えよう！

板書計画

㊦ 防災リュックを用意する時に必要なことを考えよう。

防災グッズ

飲料
水
アルファ米
カップめん
パン
乾パン
チョコ
あめ
ガム
クッキー

安全
ヘルメット
軍手
救急セット

娯楽
ゲーム
トランプ
なわとび
ボール
マンガ
本

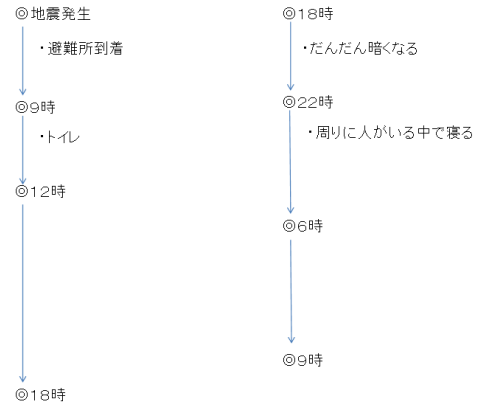
生活用品
現金
充電器
着替え
毛布
タオル
くつ
歯ブラシ
ウェットティッシュ
筆記用具
折りたたみかさ
レインコート
くし
鏡
めがね
常備薬
トイレトペーパー
ガムテープ
ティッシュ
食器類
耳栓
アイマスク
虫よけスプレー
消毒液

乾電池
カイロ
ビニール袋
マスク
イヤホン
ビニールシート

災害用
懐中電灯
簡易トイレ
携帯ラジオ
エアーマット
エロースク
ライター
笛
万能ナイフ
アルミブランケット

班の話から

時間軸で避難所生活を想像



㊦ 防災リュックを準備する時には、災害後の状況をイメージしたり、自分にとって大切な物は何かを考えたりすることが必要。

あなたが家族の防災リーダー

—防災フェスタで伝えたいことを考えよう—

単元の目標

自然災害が起きたときに自分の身を守ったり、地域の人々と協力しあって避難生活を送ったりするために、自分たちができる備えや自分たちにできることを考え、主体的・協働的に解決し、実行することができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①自分たちが住んでいる国では、多くの災害が起きたり、これから大きな震災が起これると予想されたりしていることや、災害から身を守るために防災の取組を行う必要があることを理解している。	①聞いた情報や調べた情報 考えたことの中から課題を発見し、設定している。	①災害の備えに対する自分の考えをもつために、生活を見直し自分の特徴やよさを理解しようとしている。
②過去の災害等や、災害から自分たちの身を守る方法について情報を収集している。	②災害や防災に関する情報を多様な方法で収集している。	②防災について、自分事として考え、学んだことや家族に協力してほしいことを伝える防災フェスタに向けて、主体的に取り組もうとしている。
③自分の防災リュックに必要な物を選択できるのは、災害に対する備えについて探究的に学習してきたことの成果であると感じている。	③災害や防災について調べたことや交流したことを比較したり関連づけたりして確かな根拠をもっている。	③防災について学習したことを実生活に結びつけて自分のこととして取り組もうとしている。

小単元のゴールに対するルーブリック

小単元のゴール			
「防災フェスタで伝えたいことを考える」 防災に取り組んでもらうために学んだことを防災フェスタで保護者の方に伝える。			
	適応力	探究力	主体性・向上心
S	府中町の防災の取組や自分たちにできることを比較・分類・関連付けし、広い視野をもって説明している。	防災に取り組んでもらうために学習したことを整理・分析し、まとめたり、自分の考えを明確に表現したりしている。	・防災フェスタで発表することを考える上で、自分なりの方法を工夫したり、異なる意見を尊重したりしながら活動に取り組んでいる。 ・学習したことから実生活でできそうなことを考え、実行している。
A	府中町の防災の取組や自分たちにできることを比較・分類してまとめている。	防災に取り組んでもらうために学習したことを整理・分析しながら分かりやすく表現している。	・防災フェスタで発表することを考える上で、自分なりの方法を工夫したり、友達の意見を聞いたりしながら活動に取り組んでいる。
B	府中町の防災の取組や自分たちができる備えについて知り、まとめている。	防災に取り組んでもらうために学習したことをまとめて表現している。	・防災フェスタで発表することを考える上で、自分なりの方法を工夫しながら活動に取り組んでいる。

他教科等及びSDGsとの関連

〈国語科〉「話す・聞く」「書く」
 〈社会科〉「わたしたちの国土」「わたしたちの生活と環境」
 〈理科〉「台風と天気の変化」「流れる水のはたらき」
 〈体育科〉「けがの防止」(保健)
 〈道徳〉(社会や公共のために役立つ)「お父さんは救急救命士」「わたしのボランティア体験」
 [美しいもの、気高いもの、大いなるもの]「一本松は語った」



災害から自分たちの命や生活を守るために
できることは何だろう。



4 避難所で自分たちにできることはなにか考えよう。

○避難所に必要なものとはなんだろう。(まとめ) 行動観察

- ・東日本大震災のときには、水を汲む作業を小学生がやっていたんだな。
- ・熊本地震の時には、避難した人ひとりひとりが自分には何ができるかを考えて行動に移していたからストレスの少ない避難所になったんだな。
- ・被災後は自分や自分の家族のことだけでなく、周りの人と協力していくことが大事なんだな。
- ・避難所では思いやりが必要だな。そのために普段の生活でも友達に思いやりをもって接することが大切だな。

○防災リュックに何を入れるとよいか考えよう。(本時10/20)

(整理分析・まとめ) ワークシート

- ・避難した後は食べ物に困るだろうから、準備しておいた方がよさそうだな。
- ・停電が起こったらスマホの充電ができず、人と連絡することや情報を手に入れることができなくなってしまうよ。
- ・災害で水道が止まってしまったら、水がたくさん必要になるな。手を洗う時、歯を磨く時、水を飲む時。防災リュックには、水をたくさん入れておいた方がいいな。

○もっと調べてみたいこと、自分で確かめたいことについて考えよう。(情報収集) 行動観察

- ・段ボールベッドや簡易トイレ、食料を用意してもらっていることは分かったけど、府中町のみんなが避難したら足りない気がするな。
- ・避難所まで行けば、府中町役場の人が生活のサポートをしてくれることは分かったけど、避難所に行くまではどんな道を通ったらいいんだろう。



災害に対する備えを行動に移したいけど、保護者の方の協力が必要だな。防災フェスタを開こう！

3 避難所で行われていることを知ろう。

○避難所では誰がどのように活動するのか知ろう。

(情報収集・新たな課題発見) 行動観察

- ・避難所ではボランティアの方も動いてくださるんだな。
- ・ボランティアの方だけでは大変なことも多いから、これまでの被災地では、小学生ができることをお手伝いしたと分かったよ。
- ・私たちにできることはどんなことなのだろう。

2 自分たちはどのような備えを行えばよいのか考えよう。

○自分たちにできる備えを考えよう。

(情報収集・新たな課題発見) 行動観察

- ・地震が起きた時に身を守る方法を知っておけば、自分の身を守ることができるよ。
- ・地震が起きた時に物が倒れないようにする方法を調べたい。
- ・防災リュックを作っておくといいよ。
- ・豪雨の時はいつ避難するかを家族で話し合っておくといいかもしれないな。

1 災害について知ろう

○府中町の役場の方の話を基に、府中町が行っている災害対策を知る。

(情報収集・新たな課題発見) ワークシート

- ・府中町の役場の方々は、災害が起こった時に備えてたくさんの準備をしてくれているのだな。
- ・災害が起こらないように対策をしてくださっているんだね。
- ・災害が起こった後の私たちの生活を支えるための備えもしてくださっているよ。

